

羽ばたけ 大空へ

財団法人

日本学生支援機構 「平成27年度優秀学生顕彰」 2名が奨励賞を受賞



福留さん(前列右から2番目)を囲んで



帰国後、表彰状を手にした橋本さん

鹿屋体育大学では、同
大学自転車競技部の橋本
英也さん(スポーツ総合
課程4年)及び水泳部の
福留景子さん(同4年)

が独立行政法人日本学生
支援機構の平成27年度優
秀学生顕彰(スポーツ分
野)において奨励賞を受
賞したことに伴い、1月
7日に受賞報告会・表彰
状伝達式を実施しまし
た。

この事業は、平成17年
度から学術・文化、芸術、
スポーツ活動等の各分野
で優れた業績を挙げた学
生(3年生以上の学部学
生)を対象に実施されて
おり、スポーツ活動分野
で優秀な成績を取った両
名が受賞した。

伝達式では、福留さん
と、海外遠征中の橋本さ
んの代理として自転車競
技部の黒川剛監督に、福
永哲夫学長が表彰状を授
与し「今回の受賞は大変
名誉なこと。みなさんの
国際的な活躍は、本学に
とっても大きな財産で
す」と祝福の言葉をかけ
ました。

橋本さんは、2014
年に仁川アジア競技大会
自転車競技男子オムニア
ムで優勝、同年の全日本
自転車競技大会トラッ
プでも4年生。今後、競技を
続けるのと、「この
賞を励みに、これか
ら世界の舞台で活躍で
きるよう頑張りたい」と話
します。

福留さんは2015
年ユニバーシアード競
技大会競泳女子200
m平泳ぎで優勝したほ
か、2013年には日本
学生選手権水泳競技大会
女子平泳ぎの100m、
200m両種目で優勝を
果たしています。

ク・レース選手権では4
冠を達成するなど国内外
で優秀な成績を取まし
た。また、昨年11月には
全日本自転車競技選手権
大会オムニアムの4km個
人パシユートで、自身
が保持していた日本記録
を3秒以上更新し、4分
26秒763の日本新記録
を樹立しています。



○下坂晃城選手
(アビスパ福岡内定)
出身：福岡県 ポジション：DF
コメント：まずは開幕戦出場を目標に、
地元福岡を盛り上げ、サポーターの皆さんから愛される選手になれるようがんばりたい。

○中原優生選手
(鹿兒島ユナイテッドFC内定)
出身：鹿兒島県 ポジション：MF
コメント：Jの舞台でプレー出来ることを光栄に思う。チームを引っ張って
いける選手になれるように努力していきたい。

○寺田匡史選手
(鹿兒島ユナイテッドFC内定)
出身：長崎県 ポジション：DF
コメント：小さい頃からの夢であったプロサッカー選手として挑戦させて
ただけに感謝している。試合で活躍して今まで支えてくれた方々へ
恩返しをしたい。

12月24日、鹿屋体育
大学サッカー部から日本
プロサッカーリーグ(ジ
リーグ)のクラブチーム
への入団が内定している
選手の記者会見が、同大
学にて行われました。

会見を行ったのは、来
季にJ1に復帰するア
ビスパ福岡に入団する下
坂晃城さん(スポーツ総
合課程4年)、来季から
J3に参入する鹿兒島
ユナイテッドFCに入団
しました。



左から青木監督、中原さん、下坂さん、守田さん、林田氏、登尾氏

する中原優生さん(同4
年)、寺田匡史さん(同
4年)の3選手。
サッカー部の青木竜
監督、アビスパ福岡チ
ーム統括部スカウトの林
田英俊氏、鹿兒島ユナイ
テッドFCゼネラルマネ
ジャーの登尾顕徳氏も出
席した会見で、3選手は
それぞれの抱負や、チ
ームメイト・家族など周囲
への感謝の気持ちを語り
ました。

青木監督は「3人と
も、常に自分の身体と向
き合い、目標を見据えて
努力を続けてきた。互い
を意識し合って、太く長
くJリーグのステージで
活躍してくれることを後
輩達と見守りたい」と話
しました。

鹿屋体育大学では、競
技力向上のための種々の
取り組みが実を結び、こ
れまでに今回を含め31名
のJリーグが誕生して
います。

サッカー部3選手Jリーグ内定記者会見

外国人から見た日本の
い所として、列車時刻の正
確さと旅客サービスの高さ
がよくあげられる。そう言
えば、東京に出張した際、J
Rや地下鉄の駅のホームで
待つっていると、頻りに構内ア
ナウンスが流れ、確実に次々
と滑り込んで来る列車を案
内してくれる。しかもしや
れたメロディ付きで。人間工
学に基づいて最も効果のあ
る音階やリズムを使ってい
るのだろう。もちろん、車内
アナウンスもあり、時には
英語など外国語でのアナウ
ンスも流れたりする。本当
に親切だ。しかし、ホームが
多く、頻りに列車が行き来
するような大きな駅になる
と、自動アナウンスに加え、
職員の声が次々と耳に飛
び込んでくる。耳栓などし
ない限り回避できない。お
そらく、客のクレーム対応
や、事故責任の回避が根底
にあるのだろう。騒音公害
とかここで持ち出す気はな
いのだが、やお節介りの気も
する。一方、京都と言えは、
特に外国人にはたいへん人
気の観光スポットだ。有名
な古刹が数多くあり、そこ
には時間を忘れる静寂があ
り、癒しの空間を体感でき
る。そして、静寂だけでき
なく、暗さも伴う。谷崎潤一郎
の有名な随筆「陰翳礼讃」
では、日本家屋での「暗さの
美」を讃える。これが書か
れたのは、昭和初期であり、
居間の明るさは今の5分の
1程度であったろう。▼「静
寂」と「陰翳」。ライフスタ
イルに少しでもいいから取
り入れよう。「メンタルヘル
ス」にも効果があるのでは
よし、明日、いや今日から始
めよう。(T.H)

わかくさ

ミズノ地球環境保全活動「Crew21」

健やかなスポーツシーンを
人へ、地球へ

ミズノは、環境に配慮したモノづくりとサービスを通じて
地球環境保全活動に貢献します

明日は、きっと、できる。

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に参加



左から前田鹿屋大学長、佐々木鹿屋県副知事、中嶋理事・副学長

地方創生の重要性が高まる中であって、地方の大学等が地域産業界等のニーズを踏まえた人材を養成し、地域に定着させる取組は急務となっています。このような現状を踏まえ、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」として、鹿屋大学を中心とした鹿屋県内の8大学・短大・高専が連携し、地域のニーズに応える人材育成と、学卒者の鹿屋県定着促進に向けた教育改革を行う事業に鹿屋体育大学も参加することとなりました。

事業協働機関のネットワークを活かしたインターシップ等の充実や就職支援の充実等あらゆる側面から学卒者の鹿屋県就職を支援し、更に鹿屋県、地域産業界、金融機関等と協働した「オール鹿屋県」により、魅力ある地域への食と観光関連産業等における新規雇用の創出と雇用の拡大を図る事業が今後5年間展開されます。

12月14日には、鹿屋大学で事業参加校と鹿屋県との「雇用創出と若者定着に関する協定」調印式が行われ、鹿屋県、鹿屋大学の中嶋理事・副学長が出席。事業推進代表者となる鹿屋大学の前田芳實学長は「地域ニーズに応じた人材育成等、あらゆる側面から地元就職率の向上に向けた取り組みをオール鹿屋県で取り組みたい」と話しました。

この事業により、5年後の鹿屋県内学卒者の県内就職率を平成26年度の54%(鹿屋体育大学の鹿屋県内就職率は6.2%)から61.5%へと7.5%増加させることを目標としています。

現在の3年次生は、採用選考が8月から6月へ就業観について考える機会となり、有意義な時間となり、就職活動解禁(3月)から、選考期間までが短くなります。

鹿屋大学の学生は就職活動解禁となる時期に大会や教育実習等もあり、就職活動が困難となる状況が予想されることから、就職活動解禁前となる準備期間中の早期段階から進路・職業選択をしっかりと考え、スケジュールを練って行動する必要があります。

そのため、鹿屋体育大学キャリア形成支援室では、11月24日に第2回就職ガイダンスを開催しました。このガイダンスでは、早い段階から将来について具体的にイメージさせることを目的として、公務員・企業・教員・公務員・企業の各分野で活躍している同大のOB、OG7名を講師に、座談会形式で行われました。

学生が自ら先輩に仕事や採用活動等についてインタビューし、情報提供を



就職ガイダンス



就職塾



韓国体育大学自転車部合宿

12月11日(18日)の期間、韓国体育大学自転車部(指導者3名、選手14名)が鹿屋体育大学で合宿を行いました。

韓国体育大学は、オリンピック選手を多数輩出している韓国の国立大学で、鹿屋体育大学と平成11年に国際交流協定を締結し、留学生の交流等を行っています。

韓国式のトレーニングに鹿屋の学生は戸惑っていましたが、一緒に練習することでお互いにいい刺激となり、レベルアップと交流が図られたようです。

トライアスロン女子選手合宿

今年のリオデジャネイロ五輪出場を目指すトライアスロン女子選手が、鹿屋体育大学等で合同練習を行いました。

今回、来学したのは、女子強化オリンピック指定選手の佐藤優香さんを始め「Team Keas(チームケーズ)」に所属する6選手。双方のレベルアップを図る目的で同大学の水泳部や自転車競技部と合同練習が行われ、選手達も充実した練習が出来たというこゝろで、今後の活躍が期待されます。



大型二種免許から大型二輪免許まで取得可能です

送迎バスもご利用できます

入校日 毎週水曜日・土曜日 AM 8:30~9:00 PM 1:00~1:20

〒893-0057 鹿屋市今坂町10115番地 電話(0994)43-4141

KANOYA DRIVING SCHOOL 鹿屋自動車学校

MOVE It's your Future 寿スポーツ

すべての消費者のために!!

鹿屋市礼元1丁目3番5号 TEL 0994-44-2123

バス 鹿屋農業高校 R269 寿自動車学校 バイパス ドラッグイレブ

株式会社 三木商会

〒893-0009 鹿屋市大手町12番1号 TEL (0994) 43-4178 FAX (0994) 44-9371

【営業所】 鹿屋・高山・志布志・岩川・牧之原・野方・垂水・大根占

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスかごしま 鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1 0994-42-2181

スポーツ合宿 まちづくり推進事業

鹿屋体育大学は、鹿屋市と連携してプロスポーツ選手等のスポーツ合宿、自主トレーニングを誘致する「スポーツ合宿まちづくり推進事業」を実施しています。

12月16日には、埼玉西武ライオンズから今季ドラフト指名された第一工業大学の呉念庭選手と國場翼選手が、1月8日(15日)には、日本選手権女子走り高跳びで2連覇中の渡辺希選手やプロゴルフトーナメント選手5名が、同大学のスポーツパフォーマンス研究棟やグラウンド等で測定やトレーニングを行いました。



知的財産セミナーを開催

鹿屋体育大学における研究活動を進めるうえで、必要な知的財産権に関する基礎的知識を学び、今後の知的財産の創出・保護・活用等に役立てることを目的とし、12月2日に知的財産セミナーを開催しました。

鹿屋体育大学学官連携推進センター知的財産部門長の高橋省吾教授を講師にお迎えし、「大学における知的財産―研究成果と活用事例―」と題したセミナーでは、知的財産とは何か、特許になる発明とは何かについて、知的財産権の効力や役割、特許制度の目的等の

説明がありました。あわせて、大学が特許出願することの意義について、研究成果の具体化による社会貢献や特許を活用した外部資金の獲得による研究環境の向上につながるなどについて、鹿屋体育大学における知的財産権の活用事例を交え語られました。

参加した教職員からは「日常的に行っていることが発明となり得ることを理解できた」「体育という身近な領域の中にも知的財産が存在する」と感じた。「事例紹介もあり、知的財産権についてイメージできた」等、セ



セミナーが有意義であった旨の意見が多く聞かれました。

平成27年度 アスレティックトレーナーに関する講習会を開催

鹿屋体育大学では、平成27年度アスレティックトレーナーに関する講習会を、12月21日に大学院棟3階大講義室において開催しました。

この講習会は、学生の競技力向上と競技活動を支援するアスレティックトレーナーの資質向上を目的として毎年開催しているもので、今回は、講師に蒲田和芳氏(常翔学園広島国際大学総合リハビリテーション学部教授)を招き、「骨盤/胸郭アライメントと体幹トレーニング」をテーマに、実技を交え1時間30分に

わたたり、怪我から復帰のためのリハビリやトレーニングの方法についての講習を行いました。この講習会には、学生・教職員併せて約80名が参加し、終了後は学生からの質問が次から次に寄せられました。参加者へのアンケートでも、「たいへんためになった」との感想が多く、短い時間ではあったものの、特にトレーナーを目指す学生に



講師の蒲田氏



とっては非常に有意義な講習会となりました。

大学入試センター試験を実施

本格的な入試シーズンの幕開けとなる大学入試センター試験が1月16日と17日の2日間、全国693の会場で実施されました。今年の志願者数は昨年より4636人多い56万3768人で、内訳は、高等学校等卒業見込者が46万2335人(82%)、既卒者は9万6454人(17.1%)、その他、高等学校卒業程度認定試験合格者や高等専門学校第3学年修了者などが4979人(0.9%)です。また、センター試験を利用する大学と短期大学は、過去最多の850校となりました。

1日目は、地理歴史

公民、国語、外国語、英語のリスニング、2日目は理科と数学の試験が行われました。

500人近くが受験した鹿屋体育大学では、朝早くから受験生が次々と会場に到着し、担任教員の声援を受けながら、緊張した様子で試験室へと入っていきまました。冷え込みが心配されましたが、1日目は青空の広がる暖かい1日で、休み時間には外の芝生に座り参考書を広げる受験生の姿も見られました。2日目は一転して雨模様となりましたが、トラブル等もなく試験は無事終了しました。

国立大学の2次試験



English Corner ~☆~を開幕

鹿屋体育大学国際交流センターでは、10月21日から12月16日までの期間、全8回の日程で「いんぐりっしゅ☆るーむ」を開催しました。これは英語に興味のある人、英語が好きな人、留学の準備をしたい人などが、これまで学んだ英語を使って自由に英会話を楽しもうというもので、誰でも参加できる活動です。平成26年から前期、後期の年2回開催しており、今回で4回目となります。

会場は鹿屋体育大学NIFS GALLERYには、海外遠征を予定している学生や語学力を高め



たい教職員を始め、市民の方々など大学外からも毎回多くの方が集い、英会話のレベルや興味の合う人と身振り手振りを交えて、自由にコミュニケーションを取りながら、英会話を楽しんでいました。

参加者にとってこの活動は、英語をアウトプットする場としてだけでなく、交流の輪を広げる絶好の機会となったようです。

サークル紹介



ラグビー部

現在、私達ラグビー部は、鹿屋市の社会人ラグビーチーム「鹿屋ウォンパッツ」に参加し、春と秋に行われる県社会人リーグおよび県社会人7人制大会に出場しております。7人制の試合では、ここ数年、部活動を引退した学生も参加しており、各競技で培った身体能力を活かし活躍しております。さらに、毎年オーストラリアのチームとの交流戦を行っており、2016年2月は鹿屋で試合が開催されます。鹿屋市にお住みの皆様、ぜひ本場オーストラリアのラグビーに対して、鹿屋のチームが一心不乱に挑む姿を見に来てください。また、近年のラグビーブームによって、本学ラグビー部においても未経験者が数名加入し、実際に公式戦でトライを取るなど活躍しております。これからも、経

験・未経験者問わず、鹿屋体育大学ラグビー部および鹿屋ウォンパッツは新規参加者を募集しております。オリンピックの正式種目に決定し、2019年にはW杯(15人制)、2020年にはオリンピック(7人制)が日本で開催される今、ラグビーをせず何のスポーツをしますか?特に女子ラグビーは競技人口が少なく、代表選手の多くが、大学以降における他の競技からの転向者で構成されています。未来の日本代表選手、オリンピック出場選手をこの鹿屋の地から輩出できるよう女子ラグビーチームの立ち上げを行っております。現在男子に混じって定期的に練習を行っており、徐々に人数も増えてきております。興味がある方は是非一度見学だけでもいいのでご参加ください。

汲取の御注文
浄化槽の管理

N

水質保全に
全力投球

株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL(0994)43-3425

心豊かな車社会を願う

寿自動車学校

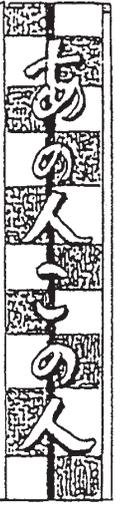
スクールバスを1時間ごとに運行しています

鹿屋市礼元1丁目13-30 電話(0994)43-2627

大瀧酒造株式会社

常盤 海 蒼々 一番 大

千893-0016 鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
TEL 0994-44-2190(代) FAX 0994-40-0950



はじめまして



施設課設備係 若松 勇希

新規採用職員として平成27年12月1日付けで、鹿屋体育大学に採用になりました若松勇希と申します。



学術図書情報課 産学連携・知的財産係 古藤 義平

出身は鹿児島市生まれですが、両親が南大隅町出身ということで引越後

も鹿屋の地に自然と馴染んでいます。更にドライブや学生時代から続けているジョギング等を通して、地域や大学の特色を学んでいきたいと思

配属先は、施設課設備係です。これまで設備の設計や保全という業務が未経験の為日々勉強の日ですが、コツコツと技術を身につけ、皆様が勉強やスポーツに励む環境づくりのお手伝いができ

あつた鹿屋体育大学で働くことができ、とても嬉しく思います。配属先は学術図書情報課産学連携・知的財産係です。知的財産という分野に触れたことがなかったため、学ぶことが多くあり、忙しさの中にも新鮮さを感じながら毎日の業務にあたっています。これから業務の中で皆様にご迷惑をお掛けする事もあると思いますが、大学の発展のために日々努力していきたいと思

硬式野球部が野球教室を開催

鹿屋体育大学硬式野球部は、大隅地区の野球界の振興に寄与することを目的に、定期的に野球教室を開催しています。

12月13日は、初めての開催となる小学生対象の児童野球教室が、12月19日、20日には、中学生を対象とした第4回少年野球教室が同大野球場とスポーツフォーラムス研究棟で行われ、大隅地区の7つのスポーツ少年団、16校の中学校野球部の児童・生徒が参加しました。

その後、構成される小グループ制で行われ、言葉のキャッチボールも盛んで、近い距離感での指導となりました。

その後、構成される小グループ制で行われ、言葉のキャッチボールも盛んで、近い距離感での指導となりました。

バットスイング解析はスポーツパフォーマンス研究棟で行われ、スイング軌道やスイング時間、ヘッドスピード等を計測できるシステムを用いて、一人一人のバットスイングを計測しました。

最後に行われたのは、野球教室恒例となっているキャッチボールクラシック。7mの距離をと

つて1チーム2手に分かれ、2分間で何回キャッチボール出来るか競うもので、参加者は大学生にコツを教えてもらいながら、声を出し合い真剣に取り組んでいました。

この教室は、子ども達の技術力向上だけでなく、将来指導者を目指す大学生にとっても、貴重な学びの場となっています。



笑顔でウォーミングアップ



バットスイング解析



守備講座

闘いのスケジュール 3月

- 2日・2016年UCIトラック世界選手権大会 (～6 イギリス/ロンドン)
- 3日・2016年九州学生新進テニストーナメント (～13 福岡/春日公園テニスコート他)
- 4日・2015年度全日本学生ボードセーリング選手権大学対抗戦 (～6 和歌山/和歌山セーリングセンター)
- 13日・第10回明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会 (東京/明治神宮外苑)

学内行事 3月

- 9日・大学院修士課程第2次募集入試
- 11日・春期休業 (～31日)
- 19日・大学説明会 (東京サテライトキャンパス)
- 24日・卒業証書・学位記授与式

事務局から

ありがとうございます
ごさいます

賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。心から感謝申し上げます。

【一般】
カイコー(株) 様(三万円)

本財団の賛助会員制度は、平成元年四月に発足しました。年会費(寄付金)は一口 企業三万円、個人一万円からです。本財団は、公益財団法人として認定されています。本財団に対する年会費(寄付金)につきましては税法上の優遇措置があり、二万円を超えるご寄付につきましては、その超える額について所得税の寄付金控除の対象となります。

※年会費は、振り込みもしくは現金で受け付けております。

振り込みの場合は、次の金融機関へお願いいたします。

- ・鹿児島銀行鹿屋支店 (普) 九三二〇六七
- ・鹿児島興業信用組合 古江支店 (普) 三五八二二一
- ・鹿児島相互信用金庫 西原支店 (普) 〇〇四三八〇

△口座名義
公益財団法人 鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団

理事長 風呂井敬

本財団の活動の趣旨をご理解いただき、関係各位の格別なる御高配をお願い申し上げます。

広告欄の御利用について

本紙各面の広告欄の御利用をお待ちしております。
申し込みは、
電話 0994-46-4827
(公財)鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団事務局まで、ご連絡願います。

平成27年度 卒業式・修了式のご案内

卒業式・修了式

日時：平成28年3月24日(木) 10時30分～12時00分
会場：鹿屋体育大学水野講堂

卒業生等懇談会

日時：平成28年3月24日(木) 12時20分～13時10分
会場：学生会館学生食堂(鹿屋体育大学内)
主催：国立大学法人鹿屋体育大学
(公財)鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団

第7回大学説明会 in 東京サテライトキャンパス開催!

日時	平成28年3月19日(土) 13:30～16:30
場所	筑波大学東京キャンパス文京校舎 337会議室(東京都文京区大塚3-29-1)
申込締切	平成28年3月16日(水)
詳しくは本学 Web サイトをご覧ください。 http://www.nifs-k.ac.jp/	
お問合わせ先 国立大学法人 鹿屋体育大学 教務課 入試係 TEL: 0994-46-4869 FAX: 0994-46-2515 E-mail: nyushi@nifs-k.ac.jp	